

鶴岡市ごみ焼却施設整備・運営事業建設工事の状況

平成31年3月

●事業スケジュール

年度	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
マイルストーン	契約 (3月)	解体着工 (動線切替) (7月)	土建着工 (3月)	プラント着工 (1月)
設計		[Blue bar spanning H30, H31, H32]		
既存施設用仮設施設工事		[Blue bar]		
事業実施区域造成工事		[Blue bar]		
土木・建築工事			[Blue bar spanning H31, H32]	
機械設備工事			[Blue bar]	
試運転				[Blue bar]

工事実施状況

- ・H30. 4. 1 工事着工
敷地内調査、旧施設解体を実施
 - ・H30. 12. 3 安全祈願祭
 - ・H31. 1. 21 計画通知 許可
2. 1より 本体工事 着工
- 現在、ごみピット部分掘削のために山留工事を実施中



・工事着工前
(平成30年5月)

・H31.2現在



鶴岡市一般廃棄物最終処分場整備事業概要

本事業は、岡山一般廃棄物最終処分場の埋立残余容量がわずかとなっているため、新たに上郷地区へ自然環境や生活環境への配慮、災害防止対策を十分に考慮した最終処分場を整備するものです。

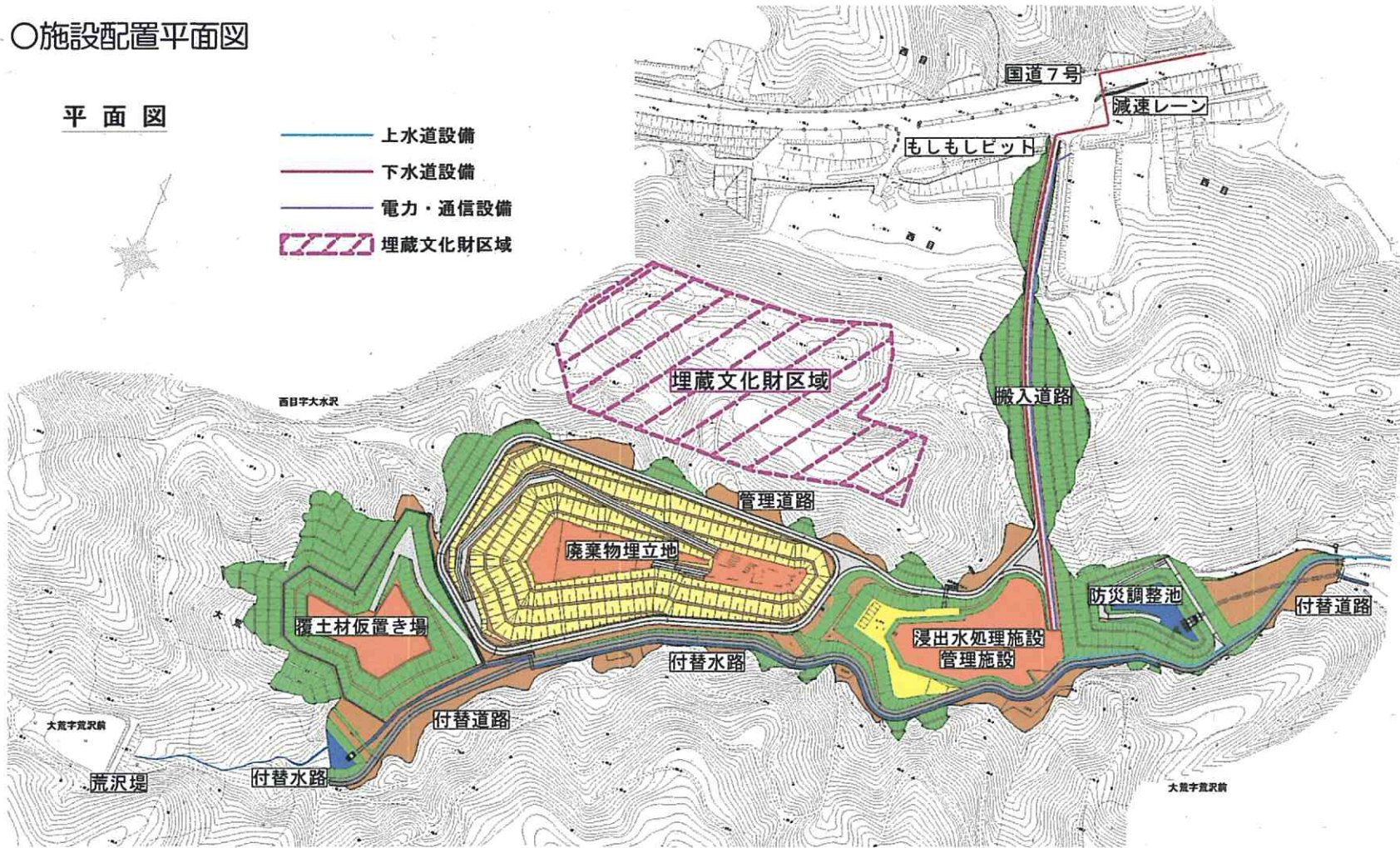
○最終処分場の概要

- 整備場所 鶴岡市大荒及び西目地内（敷地面積 約 21.4 畝）
- 施設規模 埋立容量 133,600m³、浸出水処理能力 150m³/日
- 埋立対象物 焼却灰、ばいじん、不燃残渣
（国道7号もしもしピットから管理道路を整備して搬入する）
- 埋立構造、方式 準好気性埋立構造、サンドイッチ・セル方式
- 主要施設 管理道路（搬入道路）、覆土仮置場
埋立地（土堰堤、遮水シート・漏水検知システム、集水管・集水ピット等）
浸出水処理施設（調整槽 6,400m³、アルカリ凝集沈殿・砂ろ過、下水道放流）
治山ダム（土砂流出対策施設）、雨水・地下水集排水施設、付替え道水路
防災調整池（土堰堤ブロック積、吐水ピット等）、門扉・困障
- 供用開始予定 平成34年(2022年)4月（埋立期間 15年間）

○施設配置平面図

平面図

- 上水道設備
- 下水道設備
- 電力・通信設備
- 埋蔵文化財区域



○工事業者（履行期限 平成 33 年(2021 年) 9 月 24 日、契約額 46 億 9,800 万円）

佐藤工務・鶴岡建設・佐藤組特定建設工事共同企業体（代表：株式会社佐藤工務 鶴岡市東新斎町7番61号）

○工事中の環境対策、異常気象対策

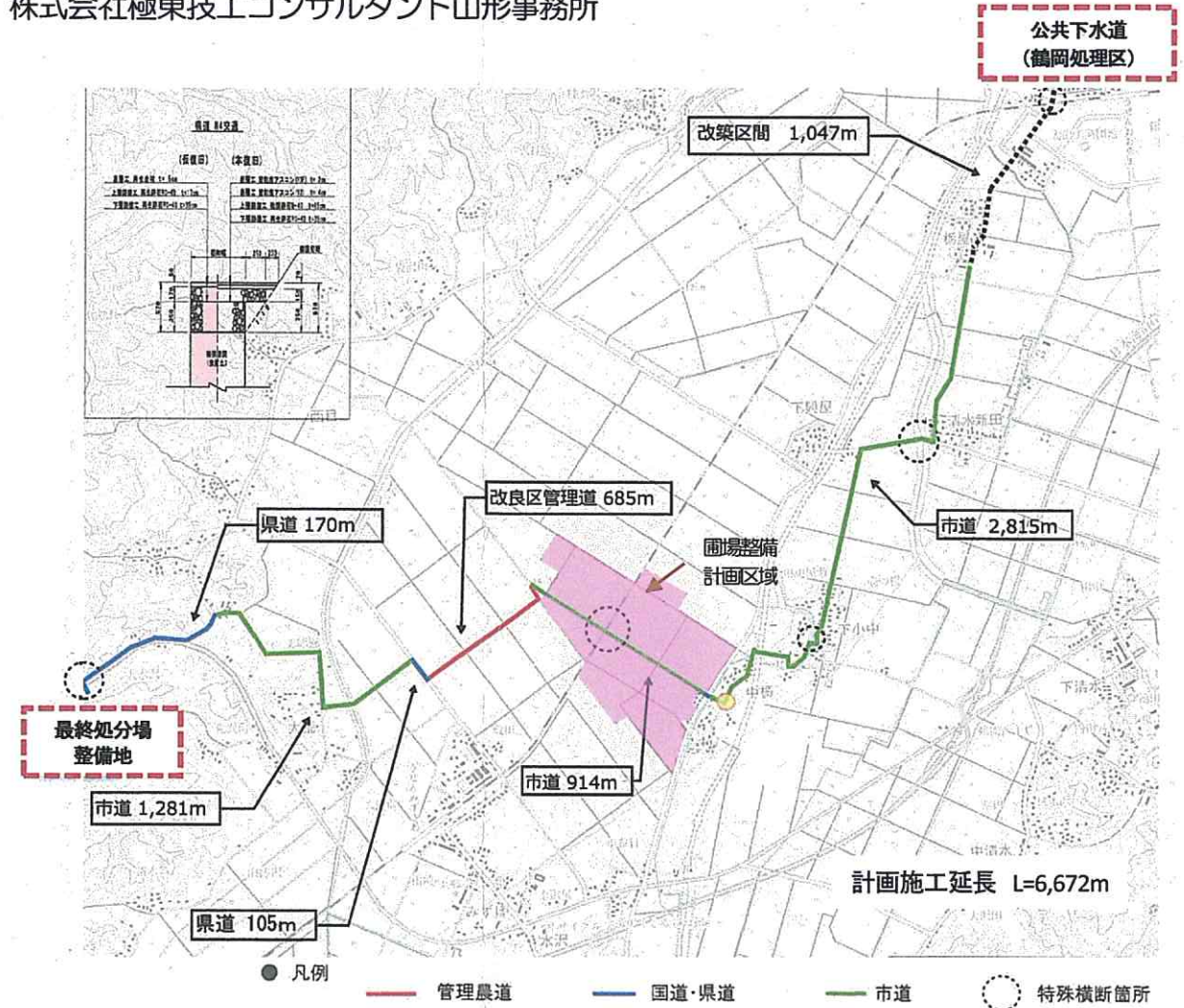
- 工事の各段階において騒音、振動、大気汚染、水質汚濁防止等を十分に検討し、周辺地域の環境保全に努める
- 重機械、トラッククレーン等の運転にあたっては、エンジン音を出来るだけ低く抑えるため、無理な負荷をかけず丁寧に運転する
- 工程により濁水が予想される場合は、ノッチタンク及び沈殿槽により下流に直接流出させない など
- 警報等発表時の異常気象への災害対策等のほか、風速計及び雨量計を設置し、局地的な気象変動の警戒により作業の判断を行う

●排水管整備概要

埋立地に降った雨は、埋立対象物に浸透した汚水（浸出水）として遮水シートなどにより浸出水処理施設に集め、アルカリ凝集沈殿・砂ろ過処理した浸出水処理水を公共下水道に放流するため、鶴岡処理区まで下図の接続ルートで排水設備の整備を計画し、平成31年(2019年)は、主に管渠設計を行うものです。

●設計業者（設計業務履行期限 平成 32 年(2020 年) 3 月 10 日）

株式会社極東技工コンサルタント山形事務所



事業スケジュール

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
用地交渉・取得	■				
処分場本體工事業者選定	■				
処分場本體工事工事説明会		■			
処分場本體工事		■	■	■	
下水道接続設計・工事		■	■	■	
供用開始					■